1.3 機械の仕様

以下に機械の仕様を示します。

５シリーズ機械仕様

	項　　目		単　位	125DX	155DX	205DX	305DX
加工範囲	工作物の加工範囲		mm	1200x500x595	1500x500x595	2000x500x595	3000x500x595
テーブル	作業面の大きさ（長さ×幅）		mm	1250x500	1500x500	2050x500	3050x500
	テーブル上面から といし下面までの距離		mm	595			
	取付ける標準チャック寸法		mm	1200x500x100	1500x500x100	2000x500x100	3000x500x100
	工作物許容質量（チャックを含む）		kg	880	2500	2400	1950
	標準チャック質量		kg	440	555	740	1110
	Ｔ溝の幅×数		mm×数	20×3			
左右送り	最大移動量		mm	1450	1750	2250	3250
	油圧送り速度		m/min	2～25			
	ハンドル１回転送り量		mm	25			
前後送り	最大移動量		mm	560			
	ハンドル１回転送り量		mm	5			
	ダイヤル１目盛送り量		mm	0.02			
	間欠油圧送り量		mm	5～35			
	連続油圧送り速度		m/min	0.3～5			
上下送り	自動切り込み送り量		mm	0.001～0.05（精研削１５段階、粗研削 10 段階）			
	早送り速度		m/min	0.36			
	手動 切り込み量	ハンドル１回転送り量	mm	0.1(×1)/1(×10)			
		ダイヤル１目盛送り量	mm	0.001(×1)/0.01(×10)			
	精研削量		mm	0.002～0.05（8 段階）			
といし	外径×幅×内径		mm	φ510×50×φ127			
	回転速度（50/60Hz）		min^{-1}	980／1100			
	回転速度（インバータ）		min^{-1}	400～2400			
電動機	といし軸用		kW/P	7.5／6			
	油圧ポンプ用		kW/P	3.7／6	5.5／6		
	上下送り用　（ＡＣサーボモータ）		kW	0.75			
電　源	所要電源			ＡＣ 200/220Ｖ，50/60Hz，３相			
	所要電力		kVA	23	25.6		26.1
占有面積	間口×奥行×高さ		mm	5400x2543x2195	5480x2543x2195	6680x2543x2195	9080x2543x2195
質　量			kg	7500	8000	9000	12000

2.3 運搬方法

機械の運搬は、次の要領で慎重に行ってください。

(1) 梱包

本機は次のような梱包単位で運搬します。

・機械本体　　・油圧ユニット
・注水装置　　・といしフランジ

吊り上げには、鋼鉄製の吊り棒、ワイヤロープ、チェーンブロック等が必要となります。（いずれの部品も標準付属品ではありません。）

組み立ては弊社または弊社指定の作業者が行います。作業者がすべての梱包の到着状況を確認するまでは、弊社の指示なしで梱包を開けることをご遠慮ください。

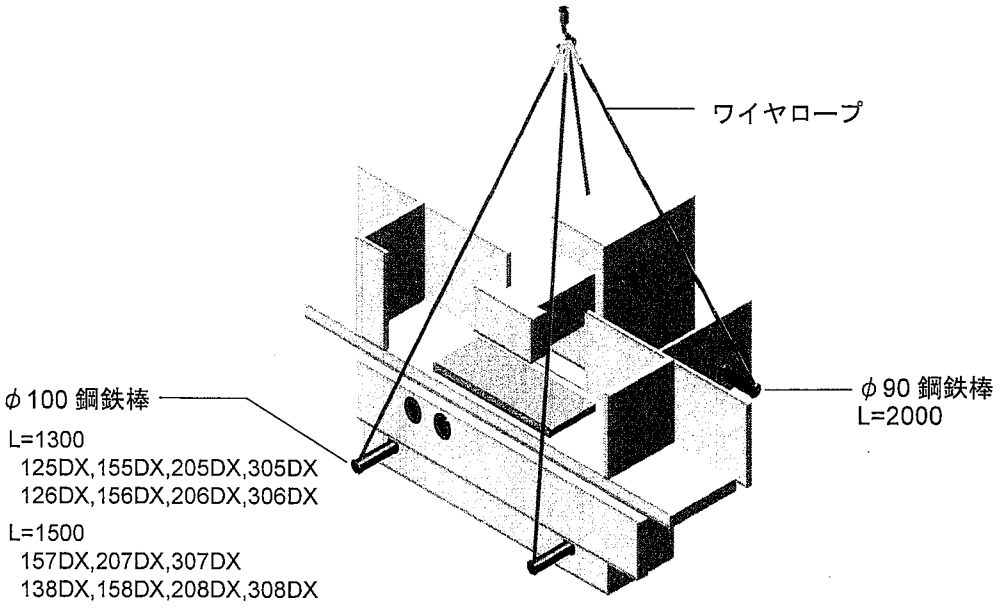
(2) 吊り上げ要領

機械の運搬にはクレーンを使用し、以下の要領で吊り上げて行います。

・ 十分な耐過重をもつクレーンを使用してください。
・ 機械にショックを与えないよう十分ご注意ください。
・ ロープと機械間には綿布団･木片等を入れ、キズがつかないようご注意ください。

1) フレーム前面２ヶ所とサドルベッド側面に開いた穴に各々鋼鉄棒を貫通させます。

2) 鋼鉄棒にワイヤロープをかけ、ロープと機械間に綿布団･木片等を入れます。

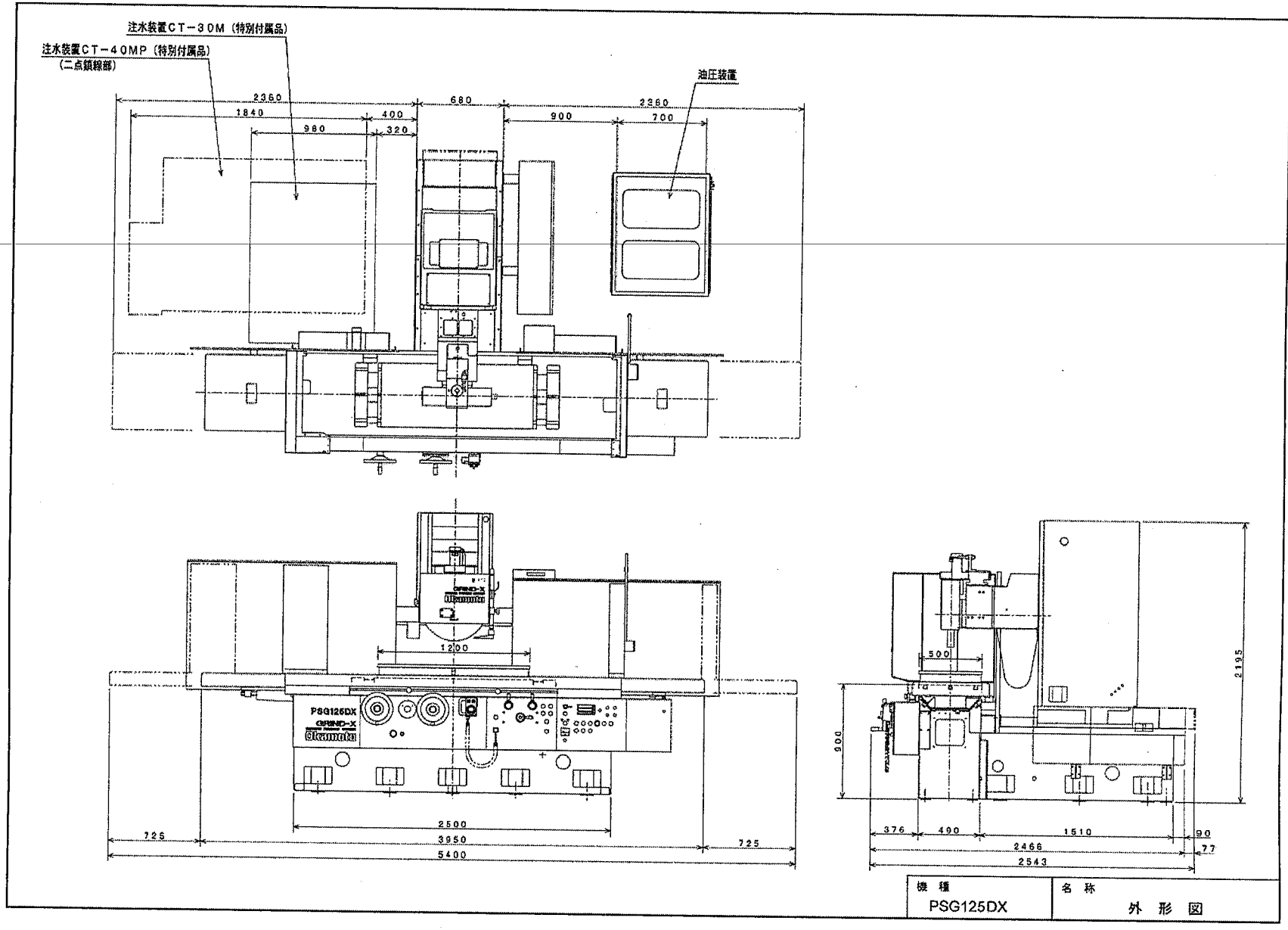


吊り上げ要領

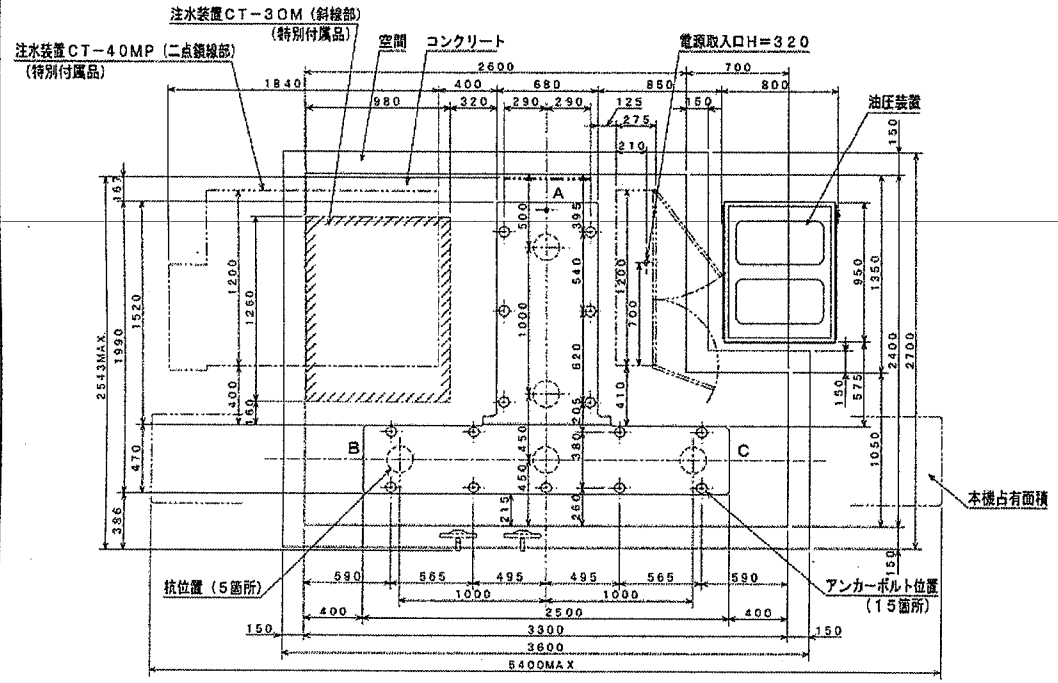
3) 少しずつ吊り上げながら、固定箇所が外れないことを確認し、運搬します。

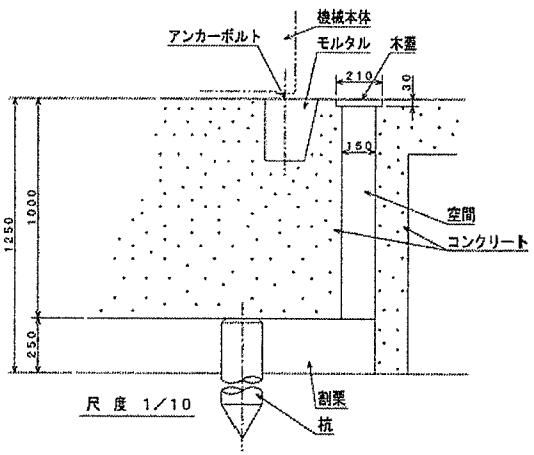
1 外形図

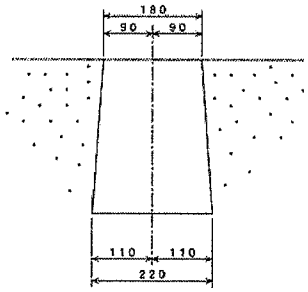
1.1 PSG125DX



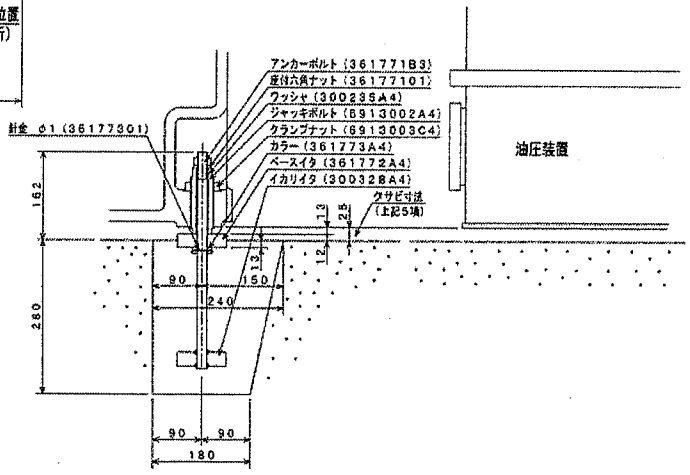
機種	名称
PSG125DX	外形図







アンカーボルト部詳細図（尺度1／4）



据 付

機械搬入前

1. 機械の据付けには、据付図に示す様に基礎をもうけて下さい。
2. この場合、基礎コンクリートには、指定の箇所に、アンカーボルト埋込み用の穴をあけておいて下さい。

機械搬入後

3. 据付の順序は、先ず吊り上げた機械のジャッキボルト穴にそれぞれアンカーボルトを取り付け、一応締付けます。
4. 取り付けられたアンカーボルトが、アンカーボルト埋込用の穴に入る様に位置を合わせ徐々に機械を降して下さい。
5. この際、フレームの両端、サドルベットの最後部（図示ABC三箇所）にクサビを置き、機械下面とコンクリート表面との隙間が、25mm程度になる様にして、大略の水平を出して下さい。（図示）
6. アンカーボルト埋込用の穴に、モルタルを流し込んで下さい。そしてモルタルに巣の出来ない様に、突棒にてよくつめて下さい。
7. モルタルが固まった後（よく確認して下さい。）ジャッキボルトにて機械の水平を出して下さい。

注 意

1. 据付図に示す寸法で、コンクリートや割栗等の入る穴を掘る場合に、土地の地耐力は6ton／m^2以上あること。地耐力が6ton／m^2以下の土地に対しては、図に示す様な位置に杭を打ち、6ton／m^2以上にして下さい。
2. 振動・衝撃のある場所、直射日光のあたる場所、温度変化の大きい場所は避けて下さい。

機 種	名 称
PSG125DX	基 礎 図